

IV ブロックごとの計画

宝塚市には下記に示すような水環境の特徴があります。整理されたブロックごとの特徴を踏まえて、ブロックごとの水のマスタープランの計画を設定しました。また、ブロックごとの特徴、施策等については次ページ以降に示します。

水のマスタープランのコンセプトを表す代表的な水環境

環境	<p>西谷地区のため池</p> <p>宝塚市では多くのため池が残されている。</p>	
親水	<p>弁天池</p> <p>水辺を市民の憩いの場として利用</p>	
治水	<p>向月町の浸水被害</p> <p>頻繁に発生している大堀川沿いの浸水</p>	

表 4(1) ブロック毎の課題・原因及びその改善項目

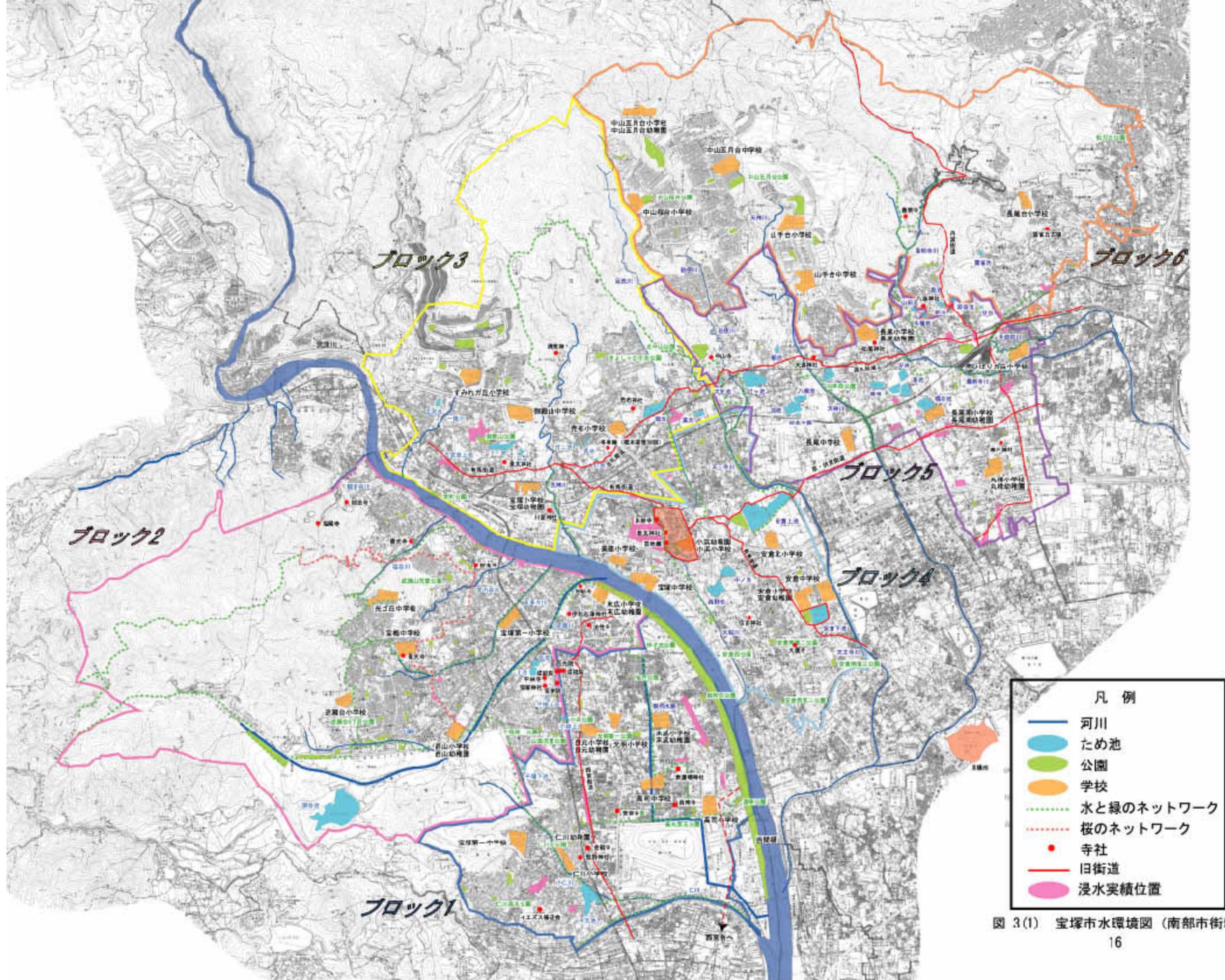
	ブロックの水環境	ブロックの方向性	項目	課題	原因	改善項目	施策
ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当ブロック内の代表的な水辺としては、小仁川、弁天池、御所水路がある。 ■ 御所水路は武庫川の水を農業用水として利用するため水路として整備され、今ではその沿川には地域の市民の方によって花などが植えられている。また、多数のコイが放流されている。 ■ 小仁川は六甲山系に源を發し、住宅地内を流下し、仁川に合流して武庫川に注ぐ。阪急今津線付近より下流部は天井川を形成する。 ■ 上流域のほとんどはゴルフ場として利用されており、かつ中流域は戦後の開発により住宅地として利用されており、その流域内にはほとんど自然がないといえます。 ■ 弁天池は農業用ため池として利用されている。また、池周辺は公園等として整備され、市民の憩いの場となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブロック内を流下する御所水路など農業用水路網を生かした水辺環境の創出 ■ 弁天池・小仁川の水環境を保全 ■ 雨水浸透施設の設置による市街地の浸透能力を確保 <p>ブロック内の農業用水路網を生かした水辺環境の創出及び既存の弁天池・小仁川の水環境の保全に努める。また、市域内でも浸透能力が高い地域であるため浸透施設の設置を進め、雨水を地下に浸透させることで雨水排水計画と合わせ浸水被害の解消に努める。</p>	環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小仁川水系を活かした整備が行われていない ■ 小仁川の水量が減っている 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水涵養量の減少 ■ 都市化等に伴う山林・農地の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仁川・小仁川上流域の保水機能の回復 ■ 小仁川上流区間のゲンジボタルが生息している水環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小仁川のゲンジボタルの生息環境に配慮した近自然型の川づくり ■ 小仁川に親水空間の創出 ■ 仁川・小仁川・弁天池、御所水路・川西川を活かしたネットワークの創出（アメニティ軸の創出） ■ 御所水路の水を沿川の公園に引き込みせせらぎ公園等の創出 ■ 御所水路を活かした水辺空間の創出 ■ ため池の保全 ■ 農業用水路網を活かした水辺空間の創出 ■ 学校、公園にピオトープの創出 ■ 公共公益施設で雨水貯留浸透施設の導入・普及 ■ 民間開発地・集合住宅で雨水貯留浸透施設の導入・普及 ■ 各戸貯留浸透施設の導入・普及 ■ 中水利用の促進 ■ 節水の促進 ■ 地下水利用の適正化
			親水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 御所水路などの水路があるが水辺を身近に感じない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 御所水路などの用水路網の資源を活かせていない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 御所水路の水を有効利用した水のネットワークの構築 	
			治水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高松町、大成町、仁川旭ヶ丘などで浸水被害が生じている 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川の源流部の開発（宅地化・ゴルフ場の整備）により浸透域が減少 ■ 流下速度の増加・流出時間の短縮による流出量の先鋭化 ■ 計画規模以上の降雨が見られる ■ 雨水排水施設の未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実態をとらえた雨水排水計画による施設の整備 ■ 流域で雨水貯留浸透施設などの洪水流出抑制施設の整備 	
ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブロック内の代表的な水辺としては、逆瀬川、支多々川、塩谷川、亥の谷川がある。 ■ 各河川共に六甲山地の急斜面を流下し、一気に武庫川に注いでおり、ブロック内に流域のほとんどを含む。 ■ 平地が少なく、六甲山地の斜面に市街地が形成されており、上流域には自然が多く残されている。 ■ 比較的浸透能力の高い土壌で形成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 逆瀬川・支多々川・亥の谷川・塩谷川の上流域の山林の保全・保水機能の確保 ■ 河川に水辺環境の創出 ■ 雨水浸透施設の設置による市街地の浸透能力を確保 <p>ブロック内を流下する河川の上流域の山林を有していることから、その保水機能の確保に努める。また、河川を利用した水辺環境を創出する。一方、市域内でも浸透能力が高い地域であるため浸透施設の設置を進め、雨水を地下に浸透させることで地下水の涵養に努める。</p>	環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 逆瀬川、支多々川など平常時の河川・水路の水量が少ない（せせらぎない） ■ 河川に自然が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水涵養量の減少 ■ 都市化等に伴う山林等の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支多々川・亥の谷川・塩谷川の上流域の自然地の保全 ■ 逆瀬川の上流域の保水機能の回復 ■ 逆瀬川上流区間のゲンジボタルが生息している水環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然地・山林の保全・保水機能の確保 ■ 逆瀬川のゲンジボタルの生息環境に配慮した近自然型の川づくり ■ 逆瀬川・支多々川・亥の谷川・塩谷川に親水空間の創出 ■ 逆瀬川・支多々川・亥の谷川・塩谷川の水辺環境を活かしたネットワークの創出（アメニティ軸の創出） ■ ため池の保全 ■ 農業用水路網を活かした水辺空間の創出 ■ 学校、公園にピオトープの創出 ■ 公共公益施設で雨水貯留浸透施設の導入・普及 ■ 民間開発地・集合住宅で雨水貯留浸透施設の導入・普及 ■ 各戸貯留浸透施設の導入・普及 ■ 中水利用の促進 ■ 節水の促進
			親水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水辺を身近に感じない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 河川（支多々川・亥の谷川・塩谷川）・水路などの資源を活かせていない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支多々川・亥の谷川・塩谷川を生かした水辺空間の整備。逆瀬川についても水量の見られる中流区間での水辺空間の整備 	
			治水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 降雨時に河川・水路が急激に増水する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川の源流部の開発（宅地化・ゴルフ場の整備）により浸透域が減少 ■ 流下速度の増加・流出時間の短縮による流出量の先鋭化 ■ 計画規模以上の降雨が見られる ■ 雨水排水施設の未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実態をとらえた雨水排水計画による施設の整備 ■ 流域で雨水貯留浸透施設などの洪水流出抑制施設の整備 	

表 4(2) ブロック毎の課題・原因及びその改善項目

	ブロックの水環境	ブロックの方向性	項目	課題	原因	改善項目	施策
ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブロック内の代表的な水辺としては荒神川、大堀川、一後川、菰池等がある。 ■ 各河川共に長尾山地の急斜面を流下し、阪急宝塚線付近より平坦部を流下し武庫川に注いでおり、ブロック内に流域のほとんどを含む。 ■ ブロック内にはため池が残されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 荒神川上流域の山林の保全・保水機能の確保 ■ 河川・ため池・農業用水路網を利用した水辺環境の創出 ■ 浸水の解消 <p>ブロック内を流下する河川の上流域の山林を有していることから、その保水機能の確保に努める。ため池・農業用水路網を生かした水辺環境を創出する。</p>	環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 荒神川、一後川の河川の水量が減っている ■ ため池の保全・管理・有効利用が出来ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水涵養量の減少 ■ 都市化等に伴う農地・山林の減少 ■ 兼業化により農業従事者の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一後川上流域の保水機能の回復 ■ 荒神川上流域の自然地の保全 ■ 荒神川に整備中の2層河川の上層河川の近自然型河道の整備 ■ ため池の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然地・山林の保全・保水機能の確保 ■ 荒神川の上層河川の近自然型河道の整備・親水空間の創出 ■ 荒神川・一後川の水辺環境を活かしたネットワークの創出（アメニティ軸の創出） ■ 荒神川上流部に貯留池を設け、維持用水の確保 ■ ため池の保全 ■ 下の池、菰池を利用した親水空間の創出 ■ 学校、公園にビオトープの創出 ■ 公共公益施設で雨水貯留浸透施設の導入・普及 ■ 民間開発地・集合住宅で雨水貯留浸透施設の導入・普及 ■ 各戸貯留浸透施設の導入・普及 ■ 中水利用の促進 ■ 節水の促進
			親水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 河川やため池があるが、親水空間として利用できない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 河川やため池があるが、親水空間として利用できない ■ 水辺に近づきにくくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 荒神川に整備中の2層河川の上層河川の近自然型河道に親水性の付加 ■ ため池の水辺空間の利用 	
			治水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川面、御殿山地区などで浸水被害が生じている 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川の源流部の開発（宅地化）により浸透域が減少 ■ 流下速度の増加・流出時間の短縮による流出量の先鋭化 ■ 計画規模以上の降雨が見られる ■ 雨水排水施設の未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実態をとらえた雨水排水計画による施設の整備 ■ 流域で雨水貯留浸透施設などの洪水流出抑制施設の整備 	
ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブロック内の代表的な水辺としては大堀川、安倉上池、安倉下池等がある。 ■ 本ブロック内には大堀川の中下流部が属し、上流部はブロックに属しており、中流部は台地から低地へ地形が変化する場所になり、渓谷を形成している。 ■ 安倉上池、安倉下池などのため池が多く残されている。 ■ 平地部では「大堀川花の道」が整備され市民の散策路等として利用されている。また、安倉上池の周辺は遊歩道が整備され、市民の散策路等に利用されている。 ■ 向月町では浸水被害が多く、内水を排除するため雨水施設を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大堀川中流部の渓谷、大堀花の道の保全 ■ 河川・ため池・農業用水路網を利用した水辺環境の創出 ■ 向月町の浸水の解消 <p>大堀川中流部の大堀花の道の保全、ため池・農業用水路網を生かした水辺環境の創出に努める。また、早急に浸水被害を解消する。</p>	環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大堀川上中流部、天王寺川の河川の水量が減っている ■ ため池の保全・管理・有効利用が出来ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水涵養量の減少 ■ 都市化等に伴う農地の減少 ■ 兼業化により農業従事者の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ため池の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然環境に配慮した近自然型の川づくり ■ 大堀川・天王寺川の水辺環境を活かしたネットワークの創出（アメニティ軸の創出） ■ 大堀花の道の保全 ■ ため池の保全 ■ 安倉上池、安倉下池、西野池、中ノ池を利用した親水空間の創出 ■ 農業用水路網を活かした水辺空間の創出 ■ 学校、公園にビオトープの創出 ■ 大堀川の河道改修 ■ 公共公益施設で雨水貯留浸透施設の導入・普及 ■ 民間開発地・集合住宅で雨水貯留浸透施設の導入・普及 ■ 各戸貯留浸透施設の導入・普及 ■ 中水利用の促進 ■ 節水の促進 ■ 地下水の適正利用
			親水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 親しみのある水辺空間が乏しい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 河川やため池があるが、親水空間として利用できない ■ 河川・水路のネットワーク化が図れていない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ため池の水辺空間の利用 ■ 大堀花の道の環境の保全 ■ 米谷雨水幹線（農業用水路を雨水排水路として利用）の水辺空間としての利用 	
			治水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 向月町などで頻繁に浸水被害が生じている 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川の源流部の開発（宅地化）により浸透域が減少 ■ 流下速度の増加・流出時間の短縮による流出量の先鋭化 ■ 計画規模以上の降雨が見られる ■ 雨水排水施設の未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実態をとらえた雨水排水計画による施設の整備 ■ 流域で雨水貯留浸透施設などの洪水流出抑制施設の整備 	

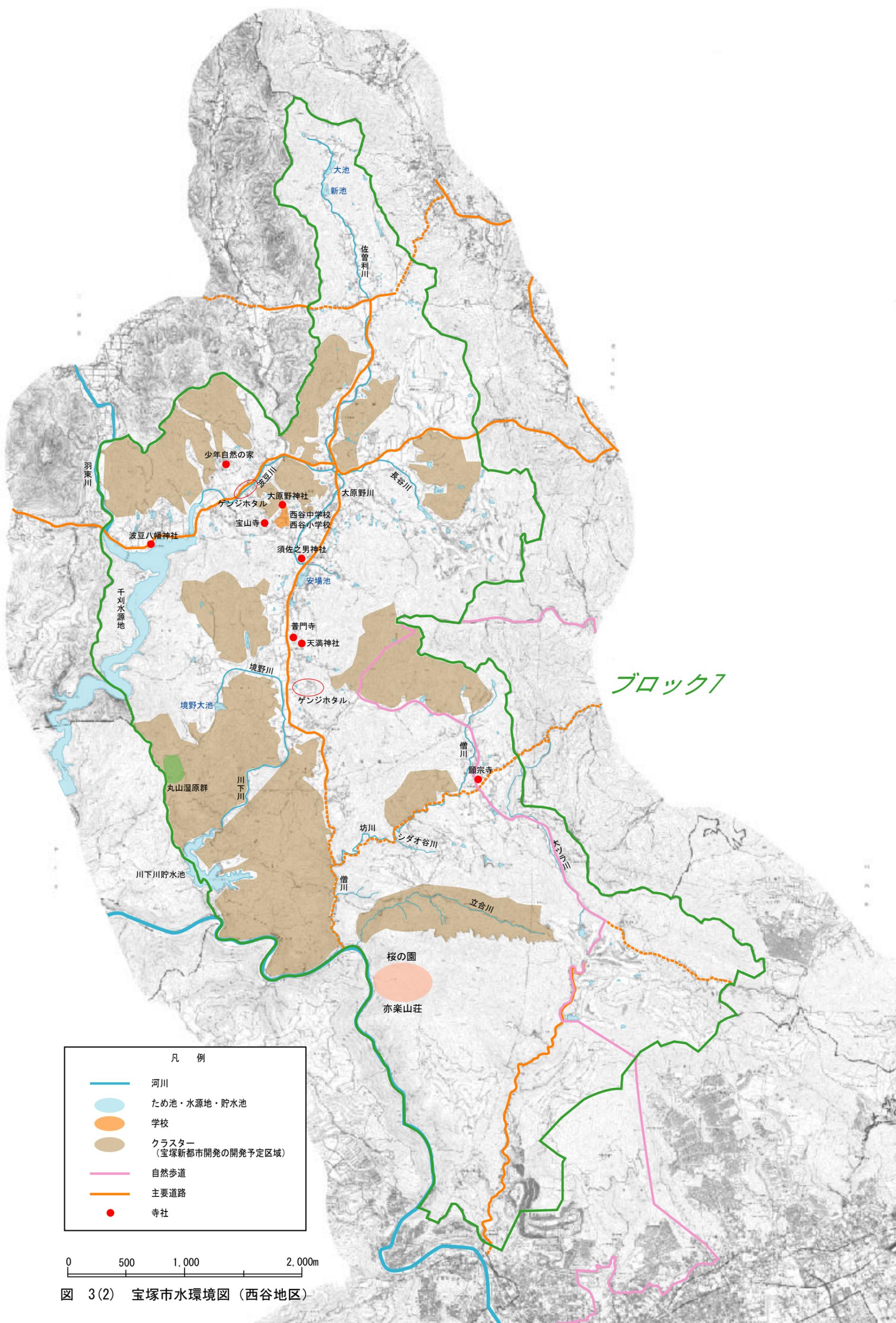
表 4(3) ブロック毎の課題・原因及びその改善項目

	ブロックの水環境	ブロックの方向性	項目	課題	原因	改善項目	施策
ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブロック内の代表的な水辺としては天王寺川、天神川、最明寺川及び山本新池などのため池がある。 ■ 本ブロック内には天井川を形成している各河川の中流部が属しており、上流はブロックに属し、下流は伊丹市、川西市に流下している。 ■ 各河川とも農業用水として利用されており、その取水は山地から平地に流下している付近で取水され、平地部に点在しているため池に供給されている。本ブロック内では流水がほとんど見られない。 ■ 山本新池、辻池などのため池が多く残されており、花卉産業が盛んである。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農地の保全 ■ 河川・ため池・農業用水路網を利用した水辺環境の創出 ■ 浸水の解消 <p>古くから植木産業が盛んであり、現在でも多くのため池・農業用水路網が整備されていることからそれらを生かした水辺環境の創出に努める。また、早急に浸水被害を解消する。</p>	環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 天神川、天王寺川、最明寺川の河川の水量が減っている ■ ため池の保全・管理・有効利用が出来ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水涵養量の減少 ■ 都市化等に伴う農地の減少 ■ 兼業化により農業従事者の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ため池の保全 ■ 足洗川・勅使川・最明寺川のゲンジボタルが生息している水環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 足洗川・勅使川・最明寺川のゲンジボタルの生息環境に配慮した近自然型の川づくり ■ 勅使川、天神川、最明寺川の水辺環境を活かしたネットワークの創出(アメニティ軸の創出) ■ ため池の保全 ■ 辻ヶ池、皿池などブロック内の多くのため池を利用した親水空間の創出 ■ 農業用水路網を活かした水辺空間の創出 ■ 学校、公園にビオトープの創出 ■ 公共公益施設で雨水貯留浸透施設の導入・普及 ■ 民間開発地・集合住宅で雨水貯留浸透施設の導入・普及 ■ 各戸貯留浸透施設の導入・普及 ■ 中水利用の促進 ■ 節水の促進
			親水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 親しみのある水辺空間が乏しい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 河川やため池があるが、親水空間として利用できない ■ 河川・水路のネットワーク化が図れていない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ため池の水辺空間の有効利用 ■ ブロック内を流下する農業用水路網の水辺空間としての利用 	
			治水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農地を宅地化することで新たな浸水被害が山本地区などで生じている 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川の源流部の開発(宅地化)により浸透域が減少 ■ 流下速度の増加・流出時間の短縮による流出量の先鋭化 ■ 計画規模以上の降雨が見られる ■ 雨水排水施設の未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実態をとらえた雨水排水計画による施設の整備 ■ 流域で雨水貯留浸透施設などの洪水流出抑制施設の整備 	
ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブロック内の代表的な水辺としては勅使川、天神川、最明寺川がある。 ■ 本ブロックはそれらの河川の源流部に位置し、山地内を河川が流下しており、比較的流水が見られる。しかし、この直下で農水のためにほぼ全量が取水されており、南に位置するブロックではほとんど表流水がみられない。 ■ 流域の多くがニュータウンとして開発されており、自然地はほとんど残されていない。 ■ 最明寺川流域に属する雲雀丘は、長尾山地の急斜面に位置し、大雨時に道路冠水するなどの問題が生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 山林の保水機能の確保 ■ 雨水などを利用した水辺環境の創出 ■ 降雨時の流出量の低減 <p>ブロックの上流域の山林を有していることから、その保水機能の確保に努める。ブロック内に少ない水辺環境の創出に努める。ブロックの上流域に属することから、下流部の浸水被害を解消するために降雨時の流出量の低減に努める。</p>	環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最明寺川、天神川の河川の水量が減っている 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水涵養量の減少 ■ 都市化等に伴う山林などの減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 天神川・最明寺川流域の山林の保水機能の回復 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然地・山林の保全・保水機能の確保 ■ 最明寺川のゲンジボタルの生息環境に配慮した近自然型の川づくり ■ ブロック内の公園に親水空間の創出 ■ 最明寺川の水辺環境を活かしたネットワークの創出(アメニティ軸の創出) ■ 学校、公園にビオトープの創出 ■ 公共公益施設で雨水貯留浸透施設の導入・普及 ■ 民間開発地・集合住宅で雨水貯留浸透施設の導入・普及 ■ 各戸貯留浸透施設の導入・普及 ■ 中水利用の促進 ■ 節水の促進
			親水	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブロック内に親水空間・水辺が乏しい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 河川・水路・ため池などの親水空間が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 雨水貯留施設等を利用した親水公園など水辺空間の整備 	
			治水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 宅地の細分化やマンション化により雲雀丘地区などで降雨時には一時水で道路冠水する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川の源流部の開発(宅地化)により浸透域が減少 ■ 流下速度の増加・流出時間の短縮による流出量の先鋭化 ■ 計画規模以上の降雨が見られる ■ 雨水排水施設の未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実態をとらえた雨水排水計画による施設の整備 ■ 流域で雨水貯留浸透施設などの洪水流出抑制施設の整備 	
ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の約88%が武庫川水系、約12%が猪名川水系に属しており、武庫川水系に属する羽束川、波豆川、佐曽利川、川下川、僧川、立会川、猪名川水系の属する大ツラ川がある。 ■ 宝塚市、神戸市などの水源池となっており、地域内に宝塚市の水源である川下川貯水池、神戸市の水源である千刈貯水池が存在する。 ■ 古来より表流水に乏しい地域といえ、各川の上流部にはため池が整備されており、現在でも多くのため池が存在し、農業用水に利用されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 里山・山林・ため池の保全 ■ 里山・山林と調和した水辺環境の整備 ■ ため池をビオトープ空間として保全 ■ 浸水被害の解消 <p>里山、農地を多く残し、ほとんどが市街化された南部市街地とは趣が異なる。そこで、残されている里山・ため池を保全し、西谷地区特有の景観と調和した水環境を創造する。また、ため池の水環境をビオトープとして活用する。武田尾付近の浸水被害を解消する。</p>	環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川下川貯水池、千刈貯水池など武庫川水系の水源に位置し、多くの水源林を抱えるが、里山・森林の維持管理が困難で荒廃している 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 山林の所有者・管理者の高齢化等により管理が行き届かなくなっている。 ■ 兼業化により農業従事者の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多く残されている里山の環境の保全 ■ ため池の保全 ■ ゲンジボタルが生息している環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然地・山林の保全・保水機能の確保 ■ ゲンジボタルの生息環境に配慮した近自然型の川づくり ■ ブロック内のため池の水辺環境を活かした親水空間の創出 ■ ため池の保全 ■ ため池をビオトープ空間として保全 ■ 各戸貯留浸透施設の導入・普及 ■ 中水利用の促進 ■ 節水の促進 ■ 武田尾地区の河川改修
			親水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多くのため池を親水空間として利用できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ため池の数は多いが、川の上流部に位置し、生活の場から離れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ため池の水辺空間の有効利用 	
			治水	<ul style="list-style-type: none"> ■ 僧川が洪水時に武庫川の水位の影響で水が溢れる ■ 武庫川沿いの武田尾地区が浸水する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 僧川の護岸高不足 ■ 武庫川の流下能力不足 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 武庫川の河道改修の推進 	



- 凡例
- 河川
 - ため池
 - 公園
 - 学校
 - - - 水と緑のネットワーク
 - - - 桜のネットワーク
 - 寺社
 - - - 旧街道
 - 浸水実績位置

図 3(1) 宝塚市水環境図 (南部市街地)



ブロック7

凡 例	
	河川
	ため池・水源地・貯水池
	学校
	クラスター (宝塚新都市開発の開発予定区域)
	自然歩道
	主要道路
	寺社

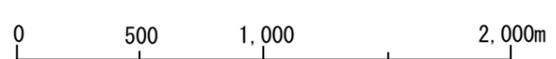


図 3(2) 宝塚市水環境図 (西谷地区)